

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

| 【目標達成計画】 | | | | | |
|----------|------|---|---|---|------------|
| 優先順位 | 項目番号 | 現状における問題点、課題 | 目標 | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容 | 目標達成に要する期間 |
| 1 | 1 | 利用者、家族等が意見や要望をオープンに表し、交流できる機会が持てていない。 | 家族会を定期的に持てる。 | グループホーム単独で行うよりも、特養や小規模多機能と合同で、定期的を開催していけるよう企画していく。 | 12ヶ月 |
| 2 | 2 | ユニット間の入居者様のADLの格差や職員不足などにより仕事量に関する職員の不満があり、入居者様の移動など格差の解消を図ったが各ユニット間の有機的な連携ができていない。 | ユニット間で有機的に連携できる。 | 毎月のユニット会議、リーダー会議等のより職員の意見を聴取しユニット間の情報を共有したり、ユニット同士で行えるレクリエーション等を企画し職員同士連携する意識を持ち日常でも協力し連携しやすい体制にしていく。 | 12ヶ月 |
| 3 | 31 | 昨年の11月より訪問看護との委託により協力して入居者様の健康管理に努めているが、職員によって差はあるが健康管理に対する意識は低い部分がある。 | 健康管理を訪問看護任せにするのではなく、介護職員が日々気にかけてケアを行い、速やかに報連相できるようレベルアップする。 | 往診時には必ず介護職員が付添い、訪問看護、主治医と連携する。職員一人、一人のスキルアップをし日々入居者様の健康管理に努め異常等の早期発見ができるようにする。 | 6ヶ月 |
| 4 | | | | | ヶ月 |
| 5 | | | | | ヶ月 |

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。